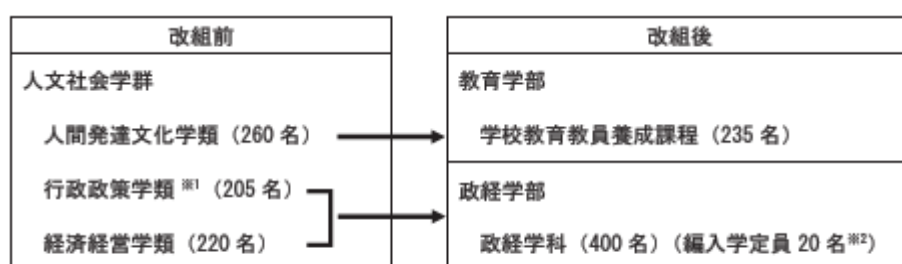


政経学部設置について（令和 9 年 4 月開設）

福島大学は、令和 9 年 4 月から行政政策学類と経済経営学類を統合し「政経学部」に改組する計画を、大学設置・学校法人審議会大学設置分科会運営委員会の「事前相談」に諮りました。

その結果、届出による設置が「可」と判定され、7 月 2 日付けで設置報告書が文部科学省に受理されました。これにより、令和 9 年 4 月から「政経学部」を開設することが認められました。



（ ）内は入学定員。

※ 1 夜間主は廃止します。

※ 2 3 年次編入学定員で外数。

●学類に所属する在学生について

在学生は卒業までの間、学群・学類に所属し入学時の教育課程・卒業要件が適用されます。学類の学生が卒業するまでの間、現行の学群・学類及び教育課程・卒業要件の維持を保障いたします。

<政経学部政経学科について>

以下に、政経学部にかかる概要・目的等をお知らせいたします。

【設置計画の概要】

〔開設時期〕 令和 9 年 4 月 〔修業年限〕 4 年

〔入学定員〕 400 名 3 年次編入学 20 名（収容定員 1,640 名） 〔学位〕 学士（経済学）

【設置の趣旨・目的】

地域経済・地域社会の持続可能な発展と Well-being 社会の実現に貢献する「社会実装力」を持つ人材を育成するため、人文社会学群行政政策学類と経済経営学類を統合し、新たに「政経学部」を設置する。

政経学部では「社会実装力」を、以下の 2 つの能力を統合した能力と定義する。

- (1) 地域の様々な資源を有効に活用して、地域を活性化するための仕組みやサービスを実装できる力
- (2) 新しく生み出される技術を多様な形で事業に活用し、企業や地域経済を元気にすることができる力

政経学部は、経済学、経営学、法学、政治学、社会学、歴史学といった人文社会科学分野にデータアナリティクスを融合させた「広義の経済学」を教育・研究の主軸とする。

これにより、従来の学問分野の垣 2 別紙資料 根を越えた総合知を育み、社会実装力を持つ人材の養成を通じて、現代の地域社会が直面する複雑な課題に対してイノベーションをもたらす人材を輩出することを目的とする。

【養成する人材像】

政経学部では、地域経済・地域社会の持続可能な発展と Well-being 社会の実現に貢献する「社会実装力」を持つ人材を養成する。この人材像は、ディプロマ・ポリシー

(DP) として以下の5つの具体的な能力に分けられる。

(DP1) 社会課題の発見・分析・解決に資する専門知識

(DP2) エビデンスに基づく論理的思考力・課題解決力

(DP3) 文理融合によるイノベーション力

(DP4) 協働力とマネジメント力

(DP5) 社会倫理と公正性 これらの能力を涵養するため、学部内に「産業・地域社会イノベーションコース」、「経済経営コース」、「公共政策デザインコース」の3コースを設置し、それぞれの専門領域からアプローチする。

＜令和9年度入学試験について＞

7月1日公表の入学者選抜要項のとおり実施します。詳細は以下をご参照ください。学生募集要項は、総合型選抜・学校推薦型選抜が7月中旬、一般選抜が11月中旬に公表を予定しています。

【参考：福島大学 令和9年度入学者選抜要項】

<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html>